

チェンバーオーケストラ相模原

第 5 回 演 奏 会

Chamber Orchestra Sagami-hara

堀正文音楽監督が選択したのは、“オール・モーツァルト・プログラム”

まだ記憶に新しい第3回演奏会にて聴衆を魅了した、モーツァルトの傑作「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」が再び、杜のホールで響きます。第4回演奏会でも取り入れられたモーツァルト作品は、まさにチェンバーオーケストラ相模原が持ち味を存分に生かせる作品、そして、それを可能にするだけの経験と演奏能力を持つメンバーが集結しています。指揮者を設置しない自発的に作られる緻密なアンサンブルを、抜群の響きを誇る贅沢な空間でお楽しみください。



堀 正文

(音楽監督・ヴァイオリン)

1949年富山県出身。5歳よりヴァイオリンを始め、京都市立堀川高等学校音楽科を経てドイツ・フライブルク音楽大学へ留学。名教師ウルリヒ・グレーリング、ヴォルフガング・マシュナーの両氏に師事。在学中より、ハイデンベルク室内合奏団のソリストとして、ヨーロッパ各地への演奏旅行を行う。1973年同大学を最優秀の成績で卒業と同時に同大学の講師に迎えらる。同年、フランクフルト放送交響楽団とヴィニャフスキのヴァイオリン協奏曲第1番を共演。1974年よりダルムシュタット国立歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスターに就任。以来ヨーロッパ各国でオーケストラ活動はもとより、ソロ、室内楽などに幅広く活躍した。1979年NHK交響楽団とのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲共演が大きな反響を呼び、同年9月NHK交響楽団のコンサートマスターとして入団。その後、ソロ・コンサートマスターを経て、35年間の長きにわたり楽団を牽引し、2015年名誉コンサートマスターに就任。数多くのソロ・リサイタルや室内楽に幅広く活躍している。また、N響での功績に対して有馬賞を受賞している。その他、ジュネーヴ国際コンクール、レオポルト・モーツァルト国際コンクール、シュポア国際コンクールの審査員を務め、桐朋学園大学で後進の指導にあたるなど、日本クラシック界を代表するヴァイオリニストとして精力的な活動を繰り広げている。



チェンバーオーケストラ相模原

チェンバーオーケストラ相模原は、NHK交響楽団をはじめとした日本の主要オーケストラを牽引している、実力と勢いのある、まさに今を駆けるトップ・プレイヤーたちによって編成された究極の室内オーケストラである。音楽監督にNHK交響楽団名誉コンサートマスターの堀正文を迎え、指揮者は設置せずに自発的な音楽作りを目的とした、日本でも数少ない本格的な室内オーケストラとなる。本拠地を19番目の政令指定都市・相模原に置き活動する。

音楽監督：堀 正文 (N響 名誉コンサートマスター)

ヴァイオリン：青木 調 (N響) 荒井章乃 (フリー) 宇根京子 (N響)
枝並千花 (フリー) 大宮臨太郎 (N響)
片野可八子 (フリー) 木島絵里子 (フリー)
小林美恵 (昭和音大客員教授) 永峰高志 (国立音大教授)
外園萌香 (フリー) 横島礼理 (フリー) 横溝耕一 (N響)

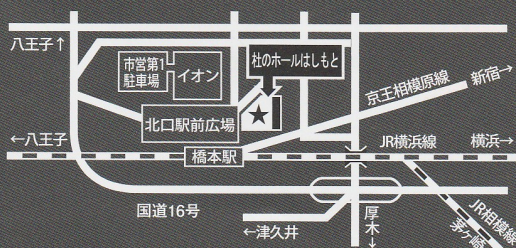
ヴィオラ：篠崎友美 (新日本フィル) 坂口弦太郎 (N響)
中竹英昭 (N響) 村松 龍 (N響)

チェロ：木越 洋 (元N響) 大宮理人 (東響)
藤村俊介 (N響) 山内俊輔 (N響)

コントラバス：吉田 秀 (N響) 佐伯坦要 (フリー)

オーボエ：嶋崎耕三 (読響) 高橋 舞 (フリー)

ホルン：大野雄太 (東響) 大槻香奈絵 (フリー)



〈お問合せ〉

杜のホールはしもと

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本3-28-1 ミウイ橋本7階
(JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口を出て右 ミウイ橋本7階)
TEL 042-775-3811 <http://hall-net.or.jp/02hashimoto/>

twitterアカウント @Sagami_MORI

チェンバーオーケストラ相模原

第 5 回 演 奏 会

Chamber Orchestra Sagami-hara

堀正文音楽監督が選択したのは、“オール・モーツァルト・プログラム”

まだ記憶に新しい第3回演奏会にて聴衆を魅了した、モーツァルトの傑作「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」が再び、杜のホールで響きます。第4回演奏会でも取り入れられたモーツァルト作品は、まさにチェンバーオーケストラ相模原が持ち味を存分に生かせる作品、そして、それを可能にするだけの経験と演奏能力を持つメンバーが集結しています。指揮者を設置しない自発的に作られる緻密なアンサンブルを、抜群の響きを誇る贅沢な空間でお楽しみください。



堀 正文

(音楽監督・ヴァイオリン)

1949年富山県出身。5歳よりヴァイオリンを始め、京都市立堀川高等学校音楽科を経てドイツ・フライブルク音楽大学へ留学。名教師ウルリヒ・グレーリング、ヴォルフガング・マシュナーの両氏に師事。在学中より、ハイデンベルク室内合奏団のソリストとして、ヨーロッパ各地への演奏旅行を行う。1973年同大学を最優秀の成績で卒業と同時に同大学の講師に迎えらる。同年、フランクフルト放送交響楽団とヴィニャフスキのヴァイオリン協奏曲第1番を共演。1974年よりダルムシュタット国立歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスターに就任。以来ヨーロッパ各国でオーケストラ活動はもとより、ソロ、室内楽などに幅広く活躍した。1979年NHK交響楽団とのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲共演が大きな反響を呼び、同年9月NHK交響楽団のコンサートマスターとして入団。その後、ソロ・コンサートマスターを経て、35年間の長きにわたり楽団を牽引し、2015年名誉コンサートマスターに就任。数多くのソロ・リサイタルや室内楽に幅広く活躍している。また、N響での功績に対して有馬賞を受賞している。その他、ジュネーヴ国際コンクール、レオポルト・モーツァルト国際コンクール、シュポア国際コンクールの審査員を務め、桐朋学園大学で後進の指導にあたるなど、日本クラシック界を代表するヴァイオリニストとして精力的な活動を繰り広げている。



チェンバーオーケストラ相模原

チェンバーオーケストラ相模原は、NHK交響楽団をはじめとした日本の主要オーケストラを牽引している、実力と勢いのある、まさに今を駆けるトップ・プレイヤーたちによって編成された究極の室内オーケストラである。音楽監督にNHK交響楽団名誉コンサートマスターの堀正文を迎え、指揮者は設置せずに自発的な音楽作りを目的とした、日本でも数少ない本格的な室内オーケストラとなる。本拠地を19番目の政令指定都市・相模原に置き活動する。

音楽監督：堀 正文 (N響 名誉コンサートマスター)

ヴァイオリン：青木 調 (N響) 荒井章乃 (フリー) 宇根京子 (N響)
枝並千花 (フリー) 大宮臨太郎 (N響)
片野可八子 (フリー) 木島絵里子 (フリー)
小林美恵 (昭和音大客員教授) 永峰高志 (国立音大教授)
外園萌香 (フリー) 横島礼理 (フリー) 横溝耕一 (N響)

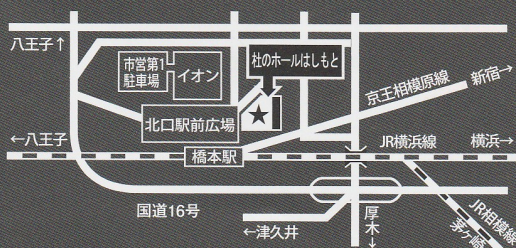
ヴィオラ：篠崎友美 (新日本フィル) 坂口弦太郎 (N響)
中竹英昭 (N響) 村松 龍 (N響)

チェロ：木越 洋 (元N響) 大宮理人 (東響)
藤村俊介 (N響) 山内俊輔 (N響)

コントラバス：吉田 秀 (N響) 佐伯坦要 (フリー)

オーボエ：嶋崎耕三 (読響) 高橋 舞 (フリー)

ホルン：大野雄太 (東響) 大槻香奈絵 (フリー)



〈お問合せ〉

杜のホールはしもと

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本3-28-1 ミウイ橋本7階
(JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口を出て右 ミウイ橋本7階)
TEL 042-775-3811 <http://hall-net.or.jp/02hashimoto/>

twitterアカウント @Sagami_MORI